

人工知能技術コンソーシアム

平成 27 年度事業計画

1. 平成 27 年度の活動

平成 26 年度までは独立行政法人産業技術総合研究所のサービス工学コンソーシアムデータ活用プラットフォーム研究会として、データ活用に関心のある複数の企業が集まり、データ活用の事例や最新技術動向の共有、意見交換などを行い、一部の企業では協業が進められ、共創的価値創出に向けて一定の効果が得られた。

平成 27 年度では、国立研究開発法人産業技術総合研究所の人工知能技術研究センターとして、データ活用の共創的価値創出をより加速させ、成功事例を多く創出する。具体的には、法人会員の課題や強みを共有し、ベストマッチングを模索していく場を形成する。またデータ活用の手法・技術の勉強会を実施したり、産総研技術の最新動向を共有するなど、データ活用の知識やノウハウ、最新情報の獲得を促進させ、法人会員のデータ活用力を強化する。コンソーシアムの活動成果はシンポジウムなどを通じて外部発信し、普及を促進していく。

2. 活動内容

コンソーシアムの活動内容は主に以下の 4 点である

① 法人会員間のベストマッチング模索

法人会員がそれぞれの課題や強みを紹介し、お互いの理解を深める場を設け、法人会員間の協業の可能性を探る。任意参加となる個別相談会の時間を設け、興味のある会員同士が協議を進めていく。協業の可能性のある会員同士で個別のワーキンググループを構築する。

② データ活用勉強会の実施

データ分析の手法やツールについて、またデータ活用の成功事例や失敗事例について幅広くデータ活用について学べる場を設ける。講師はそのテーマに合致する法人会員が担うか、あるいは外部から招く場合もある。

③ データ活用の最新動向の共有

主に産総研がデータ活用技術の研究や事例に関する最新情報を提供する。

④ 外部向けイベントの実施

不定期にシンポジウム等のイベントを企画・開催する。

3. 会合の開催

本コンソーシアムでは会員による以下の会合を開催する。

(1) 全体会合

対象：全会員

内容：「4. 全体会合の構成（案）」を参照

開催頻度：2～3 ヶ月に 1 度

(2) 運営委員会の会合

対象：運営委員

内容：コンソーシアムの運営、活動の活性化の検討

開催頻度：月に 1 度

(3) 個別のワーキンググループの会合

対象：個別ワーキンググループのメンバー、希望者

内容：会員間の協業の検討、勉強会など

開催頻度：適宜開催

4. 全体会合の構成（案）

全体会合は 2～3 ヶ月に一度開催し、例えば以下の構成で 2～3 時間の会合とする。

(1) データ活用の最新動向の共有

産総研からの話題提供

(2) 勉強会

会員の要望に応じた内容

(3) 企業紹介

各企業 15 分の発表と 5 分の質疑

<発表内容>

コンソーシアム参加目的、データ活用取組事例、強み（データ、技術、ソリューション、サービス等）、課題、その他紹介したいこと

(4) その他連絡事項

(5) 個別相談会（会合後の任意参加の時間）

企業紹介を聞いて協議したい会員同士が自由に話し合う

5. 全体会合の運営

全体会合は法人会員から持ち回りで担当者を選出し、担当者が運営を行う。持ち回りの趣旨は一部の会員に負荷が偏らないことと、会員の積極参加を促すことの 2 点である。担当者の業務は以下となる。

- ・ 全体会合の構成
- ・ 発表者勉強会講師及び企業紹介の発表者の依頼交渉
- ・ 日程及び開催場所の設定と会員への事前周知
- ・ 議事録担当者の指名
- ・ 次回担当者の指名

6. 外部向けイベントの開催（予定）

- (1) 産総研人工知能研究センター主催 シンポジウム ＜9月＞
コンソーシアムの活動紹介、次回イベントの告知など
- (2) テクノブリッジフェア in つくば 2015 ＜10月＞
コンソーシアムの活動紹介（パネル展示）、次回イベントの告知など
- (3) 株式会社シナジーマーケティング主催 オープンラボ ＜12月＞
ゲスト展示
- (4) 産総研人工知能技術コンソーシアム主催 シンポジウム ＜3月＞
口頭発表、パネルディスカッションなど

7. コンソーシアムの運営

本コンソーシアムの運営委員会は以下から構成される。

会長：本村陽一（産業技術総合研究所）

副会長：西尾義英（シナジーマーケティング）、野守耕爾（トーマツ）

運営委員（候補）：猪谷誠一（博報堂）、越野孝史（行動観察研究所）、
松岡竜大（シグマクシス）、石田和宏（ロジックデザイン）

事務局：指田みどり（産業技術総合研究所）

なお、コンソーシアム会員のメーリングリスト及び会合議事録や発表資料を共有する専用サイトは事務局が運営する。

8. スケジュール

- 第1回全体会合 7月7日 運営担当：野守耕爾（トーマツ）
 - ✧ 年次総会（コンソーシアムの運営と活動計画についての確認）
 - ✧ 勉強会（PLSAの活用ケースの紹介/東急エージェンシー）
 - ✧ 企業紹介（シナジーマーケティング、ロジックデザイン、博報堂、トーマツ）
 - ✧ 懇親会
- 第2回全体会合 9月 運営担当：猪谷誠一（博報堂）
- 産総研人工知能研究センター主催シンポジウム 9月末
- テクノブリッジフェア in つくば 2015（パネル展示） 10月22日、23日
- 第3回全体会合 12月
- 株式会社シナジーマーケティング主催オープンラボ 12月
- 第4回全体会合 3月
- 産総研人工知能技術コンソーシアム主催シンポジウム 3月

9. 予算案

費目	金額	備考
収入		
会費	1,500,000	100,000×15 口
合計	1,500,000	
支出		
サーバ管理費	300,000	
講師謝金及び交通費	150,000	
イベント開催・運営費	350,000	
会議費	200,000	貸会議室など
調査活動費	150,000	他の研究会参加など
雑費	350,000	その他運営費など
合計	1,500,000	